

令和4年度 花巻市非核平和推進事業 非核平和学習会
～学習会で学んだことや感じたなどをお伝えします～

花巻小学校6年 ^{やまだ}山田 ^{れい}怜依 さん

私は、戦争について勉強して、たくさんの方が辛い思いをされたことを改めてくわしく知ることができました。

広島県で、1945年8月6日の午前8時15分頃、米軍によって原子力爆弾が投下され、爆風で家がふき飛んだり、表面温度7,700度の爆弾が落ちてきたりしました。爆弾は、太陽の6,000度をはるかに上回る温度です。被害はそれだけで終わらず、放射線を浴びて病気に苦しむ人も後々でてくるようになったそうです。

花巻でも同じ年の8月10日に米軍によって爆撃されました。爆弾は、重さ約230kgで、爆発による穴は、直径3～10m、深さ1.5～2mの大きな穴になったそうです。自分の住んでいる場所でもこのようなことが起きたと思うととてもこわいです。

今日は、犠牲になった方を想い、平和を考える時間となりました。

桜台小学校6年 ^{てらばやし}寺林 ^{るい}瑠泉 さん

私は、非核平和学習会を通して、考えたことやはじめて知ったことがあります。

それは、核兵器のない世界がどれだけ大切かについてです。非核平和学習会で、原爆による被害について学びました。原爆は、爆風や熱線で、その場にいた人、放射線で、その場にいた人以外にもたくさんの人を苦しめたということが分かりました。また、昔アメリカで行われた核実験の映像を見ました。その時は言葉を失いました。原爆が家を一しゅんで粉々にし、塔を倒すほどの威力をもっていたからです。このようなおそろしい爆弾が今世界に12,705発あると知り、ショックを受けました。

核兵器のない世界を目指すには、未来をになう私達が、原爆のひさんさや平和の尊さ、大切さを知って、どんどん次の世代に伝えていくことが大切だと思いました。

桜台小学校6年 ^{なかしま} 中島 ^{あこ} 愛瑚 さん

私は夏休みに、非核平和学習会に参加して、知ったことや考えたことがあります。それは、自分達が住んでいる花巻でも、空襲があったことについてです。広島や長崎に原爆が投下されたことは知っていたけれど、花巻市でも空襲があったことは知りませんでした。よく知っている花巻駅も被害にあっていたと聞いて、空襲による被害は、身近にもあったんだな、とおどろきました。また、多くの方が被害を受けていて、とても悲しい気持ちになったし、ショックを受けました。

この学習会に参加して、改めて、戦争や核兵器の使用は、二度とくり返してはいけないことだと感じました。今、世界でも、戦争をしている国があります。そこに住む人々やその家族の人達のためにも、早く終わってほしいと思いました。戦争をしないためにも、周りの小さな争いからなくしていきたいです。

南城小学校6年 ^{おぼら} 小原 ^{あん} 杏 さん

「安らかに眠って下さい 過ちは くり返させぬから」

この言葉の意味について語って下さったのは広島に原爆投下された八月六日の四週間前に生まれ被爆された宇佐川弘子さんでした。優しい口調で話された話の内容は、戦争や原爆・核兵器に纏わる恐ろしく悲しい話の数々で聞いている間私は体の震えが止まらず涙をこらえるのに必死でした。また広島だけでなく私の住む花巻にも原爆投下により死傷された方がいらしたことも初めて知りました。私の母方の曾祖父も東京から召集された戦争経験者で生前、祖母が何度戦争の話聞いても話すことはなかったそうです。曾祖父の見た光景もきっと悲惨な現状だったと思います。

私はこの学習会で前よりもっと非核平和の大切さを知ることが出来ました。一日も早く世界全体から戦争が無くなる事を祈ります。

南城小学校 6年 ^{さきかわ} 笹川 ^{てるき} 輝樹 さん

花巻市博物館で、非核平和学習会に行き広島と花巻で起きた戦争について、初めて学びました。

自分が生まれる前に起きていた、花巻空しゅうで、とつ然人が亡くなっていき、こわくてとても悲しかったです。今回の学習会の前に、似内駅の平和の祈りの石ひと、花巻駅近くの、爆弾投下塔の石ひと、市役所の近くの花川橋の爆弾でけずられた橋を見に行きました。事前に見に行ったので、分かりやすく学習することができました。

これからは、平和な世の中にしていくためにも、花巻空しゅうの事を知らない人達に、伝えていこう。夏休みの自由研究は、模造紙に花巻空しゅうの事についてまとめて、南城小学校の友達や先生に知ってもらいたいです。これが、ぼくの夏休みのミッションです。

湯口小学校6年 ^{ひらか} 平賀 ^{ゆきな} 雪奈 さん

私は、広島原ばくのことについてくわしく知ることができました。私は、広島に原ばくが落とされたことは知っていたけど、原ばくの名前や起こったことまでは、はっきりと分かりませんでした。

学習して分かったことは、原ばくの名前です。先生が、「広島に落としたばくだんの名前は、リトルボーイ」と言っていました。ばくだんにも名前があることを知ってびっくりしました。たった1発のばくだんで多くの人の暮らしがうばわれたことを知って私は、「広島の人たちはたいへんな思いをしたんだ。」と実際に原ばくにあった人が書いた絵を見て感じました。

私は、今でも原ばくにあい重い病気で苦しんでいる人がいると聞いておどろきました。はやく病気をなおして笑顔ですごしてほしいとねがっています。

湯本小学校6年 ^{おおさわ}大澤 ^{きとし}智志 さん

ぼくが非核平和学習会に行って心に残ったことは、原子爆弾と広島についてです。原子爆弾はこれまでの爆弾とちがいウランが使われていたので、広島市全域が被害を受けました。原子爆弾で広島は多くの建物がくずれてしまったり、たくさんの死者や怪我人が出てしまいました。また、ウランから出てきた放射能が今でも多くの人を後遺症で苦しめています。

この話を聞いて、ぼくはとても悲しくこわかったです。なぜなら、何の罪もない人々がたった一発の爆弾によってたくさんの人々が亡くなり、長い間苦しんできたからです。

この非核平和学習会で学んだ核の怖さや戦争での大きな傷痕について忘れるのではなく、みんなに伝えて平和について考え活動していくことが、戦争の抑止力となると思います。これからは、積極的に戦争のない世界について話し合い、考えを深めていきたいです。

湯本小学校6年 ^{にしお}西尾 ^{りく}吏功 さん

非核平和学習会で初めて知ったことが2つあります。1つ目は、リトルボーイ（原爆の名前）の中にしこまれたピンポン玉のサイズのウラン235の爆弾によって広島が焼け野原になってしまったことです。ぼくは、このことを知って「名前を聞いただけで危険そうな爆弾」だと思いました。原爆のリトルボーイは、重さが4トン、長さが約3メートルもあってびっくりしました。ウラン235の爆弾のエネルギーの中で一番多いのが爆風です。ふつうの台風の風速20メートルだけどウラン235の爆風の風速は、280メートル「けたちがいだ」と思いました。

2つ目は、花巻空しゅうでおそった爆弾が大型爆弾でそれが計28発花巻町内に投下されたことです。その大型爆弾は、500ポンド爆弾と言って重さが約230キログラム、爆発跡の穴の大きさは直径3～10メートル、深さ1.5～2メートルと言われて「逆になんでアメリカがこんな大型爆弾を発射したのだろう」と思いました。他にもおどろいたことがあります。それは、犠牲者がほとんどが民間人だということです。非核平和学習会で初めて知れたことがたくさんあったのでよかったです。

矢沢小学校6年 ^{おおしだ こうへい} 大信田 紘平 さん

ぼくは、この学習会で、放射線のことを学びました。放射線を浴びた人は、すぐに症状が表れるわけではないものの、亡くなってしまうこともあると聞きました。このことから、何が原因なのかも分からずに亡くなっていった人もいるのではないかと思いました。

ぼくは、ただ戦争といっても昔の出来事のように考えていました。しかし、自分が住んでいる花巻でも空襲があったと聞いて、他人事とは思えませんでした。その空襲で列車に乗っていた人は、近くの林などに逃げこんだそうですが、機銃掃射をされ、林の中に死体がたくさんあったということも知りました。

戦争のことを考えると心が痛みますが、戦争を経験している人はもっと痛むのだろうと思います。このような辛い思いをする人がいなくなるよう、戦争のない世の中を望みたいです。

矢沢小学校6年 ^{ねもと こうた} 根元 晃太 さん

今回の平和学習会に参加して、ぼくは、核爆弾がとてもおそろしいものだなということと、平和であることがとてもありがたいことだと感じました。

特に心に残っているのは、原爆のい力の大きさです。広島原爆で黒く変形した弁当箱の写真やアメリカの軍事演習の映像を見せてもらいました。建物が一しゅんで吹き飛び、大きなきのこ雲が現れる様子から、ものすごい力で、残こくな被害をもたらすものだと感じました。

また、花巻でも空しゅうがあり、多くの命が失われたことも心に残っています。これまで、広島や長崎などはなれた所で空しゅうがあったと思っていましたが、身近な所で戦争が起こっていたことにおどろきました。

今後は、あらためて平和であることに感謝しながら、生活していきたいと思います。

宮野目小学校6年 小田島 杏梨 さん

私は非核平和学習会に参加してみて、広島や長崎の当時から現在までの人々の思いがよく伝わりました。私は、非核平和学習会で心に残ったことがあります。

それは、広島県や長崎県に落とされた原爆についてです。落とされた原爆は、大やけどや高熱火災をおこす熱線、建物をこわし人々にきずをつける爆風、目にみえない恐ろしさをもつ放射線などといった三つのものがふくまれていることが分かりました。たった1発の爆弾で35万人いた広島県広島市の人口も14万人に減ってしまったことを知って、私はもう二度と戦争をしてほしくないと思いました。今も戦争している国はあるけど、いろんな国が仲良くして、原爆で亡くなった人達の思いがこれからも受けつがれていくといいなと思いながら私は鶴を折りました。

宮野目小学校6年 佐々木 希愛 さん

1945年8月6日広島に原子爆弾が投下されました。私は当時の出来事を詳しく調べた事はありませんでしたが、この学習会に参加し、被爆者の方のお話や映像を見て、たくさんのお話を学び感じる事が出来ました。

熱線、爆風、放射線のやけどやケガ、病気で約14万人がそこで亡くなりました。いつもと変わらない生活をしていたはずの広島の人々がこの一瞬で変わったと思うと辛く悲しくなります。そして花巻も昭和20年に空襲を受けていて、戦争は遠い国や大昔の事ではないと思いました。戦後77年の今、被爆者は年々減少し語り継がれる機会も減っています。私はこの貴重な経験を少しでも多くの人に伝え平和とは人に優しい気持ちを持つ事から始まり笑顔で暮らすことという言葉を忘れず、今の生活もあたり前と思わず一日一日を大切に、平和の実現をめざしていきたいです。

太田小学校6年 ^{きたち}佐達 ^{るいと}瑠杜 さん

ぼくは、非核平和学習会に参加して思ったことは、原爆によってかぞえきれない数の人が亡くなっていて行方不明の人もたくさんいて今ではそうぞうできないくらいの地ごとになっていてこわかったです。核実けんの映像で、原爆がどれほどおそろしい物かよくわかりました。広島におちた原爆のリトルボーイは、その名前にふさわしくないはかい力で広島のみちをほどんどこわしてしまっただのがとてもおそろしいと思いました。長崎におちた原爆は、ファットマンといって長崎にも大きなひがいをだして原爆は、とてつもなくおそろしいはかい力だったのがわかりました。そんなはかい力だったならコアも大きいと思っていたらピンポンだまくらいの大きさだと聞いてびっくりしました。ぼくは、これからも、戦争がなく平和な毎日が続けばいいなと思っています。

笹間第一小学校6年 ^{おぼら}小原 ^{みちか}花夏 さん

今回の非核平和学習会で学んだことは2つあります。

1つ目は、広島県と長崎県に投下された原爆についてです。1945年8月6日に広島県に投下された原爆、1945年8月9日に長崎県に投下された原爆は、どちらもたくさんの方の被害をおよぼしました。また、熱線、熱風、放射線といった原爆による被害では、建物をこわしたり、目に見えないおそろしさがあったりすることを学びました。

2つ目は、花巻空襲についてです。これは、1945年8月10日、花巻駅周辺および花巻中心部を襲った米軍機による爆撃です。多くの方が犠牲となり、沢山の世帯が2日間にわたり、燃え続けたことにおどろきました。

今回の学習会で初めて知ることがたくさんありました。これからも、興味をもって平和と戦争について学んでいきたいです。

笹間第一小学校 6年 清水 優笑 さん

私は、生き残った人の視点で考えました。生き残った人達は、自分だけ助かっても、家族や友達、いっしょににげていた人は、助かっているかもしれないと考えたら、幸せではないと思います。にげている人も、とてもこわくて不安だったと思います。明日への希望がなく、食べ物もないので生きのびるために必死です。自分がとても大切にしているものもなくなってしまい、当たり前になっていることもできなくなります。自分だったら、どちらもとてもつらくて生きたくないですし、私と同じ思いの人もたくさんいたと思います。

私はこれまで戦争のことをその人の身になって深く考えたことがなかったけれど今回の講座で理解が深まりました。戦争のつらい思いをくり返さないために、戦争を知らない私達が思いを共有する事が大切だと思いました。

笹間第二小学校 6年 高橋 舞空 さん

非核平和学習会を通して、私が知ったこと感じたことは、2つあります。

1つ目は、1発の原爆により沢山の命が失われたことです。一瞬で、家や人などがうばわれたことを知りました。

2つ目は、今すごしている毎日が、当たり前で普通ではないことです。

今、ウクライナでも侵攻がおきており、日本にも、避難している人が沢山います。そういう方をみると、「助けてあげたい」「何か力になってあげたい」と思います。

また、戦争を経験した方の話をきくと、当時の様子や、状態などが想像しやすく、実際にきくことで、予想などができました。

学習会に参加するまでは、今すごしている日々が普通だと思っていました。しかし、参加してからは、普通ではないことを知りました。参加して良かったなと思いました。

大迫小学校5年 梅津 結愛 さん

講座に参加して、現実とは思えないビデオの映像を目にして、地獄とはこのことかと目をふせてしまった。原爆が投下された時にできた雲のことを「きのこ雲」ということ、広島では一度の爆発で14万人の人が亡くなったということを初めて知っておどろいた。さらに、戦争が終わっても、放射線の影きょうで長年にわたり人々が苦しみ、悲しんでいることも初めて知った。また、学習会では、花巻にも爆弾が落ちていたことを学んだ。学習会が終わってから、花巻駅にあるという平和の像を実際に見に行ってみた。像にある女の人や鳥や花を見て、「確かに平和ってこんな感じだな」と感じた。

今の生活が当たり前だと思っていたけど、戦争をしている国もあるから、平和って大事なかなと思った。だから、これから自分たちにできることは全部やってみたいと思った。

大迫小学校5年 佐藤 妃夏 さん

わたしが最初に戦争について感じたことは、戦争は二度とあってはならないということです。

なぜなら、戦争で多くの人のがらみがなくなったからです。アメリカ軍の原爆によってけがをした人や亡くなった人がいました。原爆には、熱線、爆風、放射線がふくまれていて多くの人放射線で亡くなっています。放射線は、鼻、口、耳から出血しそれから即死してしまいます。核兵器はこのような被害がでてしまいます。でも、核兵器は世界中にあるのでできるだけなくしていきたいと思っています。

今、ウクライナとロシアが戦争をしてたくさんの被害がでているので早くやめてほしいです。こんな思いを他の誰にもさせてはならないので、日本だけでなく世界中が平和になることを願っています。

石鳥谷小学校6年 木村 勇飛 さん

ぼくはあまり広島原爆にはきょうみがありませんでした。でもこの講座できょうみをもつことができました。一番心に残ったのは、今でもざんりゅう放射線で苦しんでいる人がいるということがぼくの心に残りました。原爆が落とされたのが1945年で37年も苦しんでいてかなしいと思いました。花巻にもぼくだんが落とされたことにもおどろきました。話を聞いていて、ぼくがすごいと思ったことは、生首や体が落ちていても、それにかまわずかんごしさんがちりょうをするのがすごいと思いました。ぼくだったらこしをぬかしてきぜつしていると思います。現在世界は12,765発のかくを持っています。かくを落としても何もいいことはありません。もうくりかえしてほしくないです。また機会があったら参加したいです。

石鳥谷小学校6年 田澤 心陽 さん

私は、この平和学習会に参加する前は、戦争は自分にとって遠いもの感じていました。広島原爆は聞いたことがありましたが、花巻空襲は、初めて聞きました。500ポンド爆弾という爆弾が花巻に落とされ、周りの家は1つも残っていなかったそうです。戦争では、多くの人亡くなってしまい、大切な人を失いました。私は、話を聞いているうちにどんどん怖くなりました。今も他の国では戦争が起きていることに悲しい気持ちになります。このようなことが日本でも起きていたなんて私には想像できません。

戦争を経験して語りつぐ人は少なくなってきました。だから、平和学習会で聞いた話を後世に伝え、このまま戦争が起らない平和な世の中になるといいと思います。

新堀小学校6年 ^{ひらい}平井 ^{ふゆき}冬暉 さん

ぼくが非核平和学習会に参加して分かったことは、太平洋戦争の終わりごろ、リトル・ボーイという原子爆弾が広島に落とされたことです。その被害のうち、35%が熱線によるもので、爆発の表面温度の7,700度で人の体が溶けてしまったということにとっても驚きました。また、爆風の強さにも驚きました。日本最大の台風よりも強く、あっという間に家が消えてしまったということでした。これらの爆弾による熱線や爆風で、たくさんの人々が命を落としたことを知り、戦争が本当に怖いものと分かりました。そして絶対に原子爆弾は使ってはいけないと強く感じました。

家に帰って、ぼくの祖父の祖父が戦争に行く時のものと思われる写真を見せられました。遠い話だった戦争が、身近に感じられました。二度と戦争を起こすことのない世界になってほしいと思います。

八幡小学校6年 ^{きさき}佐々木 ^{るか}瑠和 さん

今年で、戦後77年です。広島に原爆がおちたのは、1945年8月6日の午前8時です。その一瞬でたくさんの方が亡くなりました。その時に使われた核兵器はウラン235です。ピンポン玉くらいの大きさと広島が爆発されてこわいと思いました。爆風、秒速280mで速いんだろうけど想像できませんでした。経験した人が書いた絵は、血だらけで皮膚がはがれていて人のすがたをしていないようで本当に大変だったんだなと思いました。私が一番怖いと思ったのは、放射線です。症状はすぐにでず、耳、口、鼻から血がでて亡くなったという絵を見て、本当に苦しかったということが伝わりました。

広島や長崎以外にも花巻も空襲があったことも知りました。爆弾の破片をさわりました。鋭い所があり少し痛かったです。それが人にあたったら一溜りもないなと思いました。

八幡小学校6年 筑後 琴子 さん

今日の非核平和学習会で私は、核兵器のおそろしさや平和の大切さを学びました。今日知ったことは広島で一体何が起こったのか、花巻空襲はどのような被害だったのかということなどです。広島には、とてつもない破壊力をもった原子爆弾が投下されました。一発で何気ない風景がふきとばされ、気づけば火も燃え上がり多くの人が次々と亡くなりました。放射線という目に見えないうえにすぐに症状が出ない体に害のあるものを多くあびて亡くなった方もたくさんいることも分かりました。花巻空襲は広島よりも被害は少ないけれど、辛い思いをした人はたくさんいると思うので忘れないでいきたいです。私は戦争を体験したことはないけれど、戦争の記憶は残されたものや写真に残っているので、次の世代の人たちにも知ってもらって、核のない平和な世界になってほしいです。

八重畑小学校6年 勝沼 颯人 さん

ぼくは、この講演会で戦争と核兵器のおそろしさを学びました。ぼくは学んだことの中でおどろいたことがあります。1つ目は、広島を焼け野原にした爆弾のいりょくが50分の1に設定されていたことです。2つ目は、この爆弾の表面温度が太陽より熱いことです。

ぼくはこの講演会で学んだことで思ったことが2つあります。1つ目は当時の日本の技術が外国におくれていることです。外国はレーダーなのに日本は耳でとても不利だと思いました。2つ目は現在世界にある核兵器が13,000発もあることです。今は、ロシアがとてもあぶない状況なので平和であってほしいです。そして今回の講演会では、今ぼくたちが住んでいる花巻の空しゅうのことも学びました。他にも、爆風で飛んできた建物の破へんを実際にさわらせてもらうなどの貴重な体験をすることができました。

八重畑小学校6年 佐藤 龍玖 さん

ぼくは、この非核平和学習会でさまざまなことを学びました。

1つ目は、本当の原爆のおそろしさです。ぼくが思っていた原爆は大きく、爆破後の、放射線だけがすごいものだと思いました。ですが本当は、熱線や爆風などの放射線以外にも強力なのがあり、それがピンポン玉1個分だけで県がなくなってしまうと考えると、すごくゾッとします。そして1つの爆弾だけで何十万人と死んでしまうのはすごくこわいし、悲しいです。

2つ目は、花巻で戦争をしていたということです。主にアメリカ軍と戦争をしており、何十発と爆弾をはなたれ、5分の1が焼けてしまったり、80名以上が亡くなってしまったそうです。こきょうが戦争をしていたなんて知らなかったし、びっくりしました。

最後にこの事を伝え忘れないようにします。

東和小学校6年 太田 昊 さん

私は今まで、戦争がどこか遠い世界のことのよう感じてしまっていました。今回、初めて被害者の話を直接聞いて、戦争について知ることができました。そして私が感じたことは、怒りです。

それは、人々の幸せな暮らしと平和をこわした戦争、核兵器への怒りです。争い事を、「戦争」で解決しようとし、関係のない民間人へも攻撃することはまちがっていると思います。たくさん失わなくて良いはずの平和と命が失ったことを知りました。

私は学習会を終えて、戦争、核兵器に対して、自分の思いを持つことができました。被爆者の言葉には、とても大きな力が感じられました。その戦争をもう二度としてはいけないという考えと、今回私が感じた戦争への怒りを忘れずに、どうすれば戦争がなくなるのかをこれからも考えていきたいと思います。

ぼくは、原爆はとてもおそろしいなと感じました。1945年午前8時15分に広島に原爆が投下し、約14万人の人が亡くなってしまいました。また、原爆のこわいところが、爆風、熱線、放射線がこわいと知りました。爆風は、爆心地から100mで秒速280mの風がふいて台風よりも強いそうです。熱線は、原爆がばく発したときの表面温度が7,700度で太陽より熱く、爆心地から600mでも1,800度もし、あらゆるものをとかしてしまったそうです。また、その熱のえいきょうで、人はあとかたもなくきえてしまった。放射線は、人のDNAを破かいし、たくさんの人が亡くなってしまった。またがんや白血病になったりしたそうです。黒い雨をたくさんのみたくさんの人が亡くなった。花巻でも、爆だんで亡くなったりしてしまう人もいた。ぼくは、平和な世界をつくっていきたいと思いました。